



スリ・ダグ・キューニンは、974代目マハントである、リビング・エック・マスターであり、そして、夢、創造的な観想の実践、ソウル・トラベルを通して聖霊との直接的な個人体験に焦点を当てた世界的な教えであるエッカカンカー [ECKANKAR] の世界的なスピリチュアル・リーダーです。キューニンは、2025年10月25日、ミネアポリスで開催されたエック・ワールドワイド・ソウル・アドベンチャー・セミナーにおいて、6,000人以上の参加者の前で、エック・マスター、ハロルド・クレンプの後継者に指名されました。彼のリーダー・シップは、「光と希望の日々」として知られるエッカカンカーの次の60年サイクルの始まりを告げるものです。

生涯にわたりスピリチュアルな探求者であるキューニンは、西海岸でスピリチュアルな好奇心を奨励する家庭に育ちました。幼い頃から内なる音の流れと鮮明なスピリチュアルな夢を経験し、12歳頃にはヨガのクラス中に肉体離脱体験を経験しました。10代の頃には、個人的な観想の実践を始め、世界中の宗教的・形而上学的教えを深く研究していました。

キューニンは19歳でUCLA（カリフォルニア大学ロサンゼルス校）で人類学を学んでいた時にエッカカンカーと出会いました。卒業後は法律の道へ進み、1989年にエッカカンカーの社内弁護士としてスタッフに加わりました。40年近くにわたり、運営、セミナー、支援活動、青少年・家族向けプログラムなど、この国際組織の様々な側面でシニア・アドバイザーを務めました。妻のシャロンと共に、スピリチュアルな生き方に関する数多くの公開ワーク・ショップを主催し、エッカカンカー・ソウル・アドベンチャー・ポッドキャストの創設ホストでもあります。

リビング・エック・マスターとして、キューニンはエッカカンカーの外面的なスピリチュアル・リーダーであると同時に、120カ国以上の生徒たちの内なるガイドとしても活躍しています。彼は、人々が聖霊と直接的に個人的な関係を築き、最高のスピリチュアルな可能性を実現できるよう支援することに重点を置いています。彼は、至高の真理はすべての人の心に刻まれており、エックの教えの目的は、それぞれの魂の中にすでに備わっている神の知識を目覚めさせることであると強調しています。

現在、スリ・ダグ・キューニンはミネソタ州チャンハッセンにあるエック・キャンパス内の神殿にある国際本部からエッカカンカーを導いています。